

2026年度

友松会「豊かな教育を考える会」

横国 Day イベント

【開催テーマ】

目の前の子どもがすこやかに育つために
今私たちができること
～ 子どもとかかわる中で大切にしていること
してきたこと ～

【開催日時・会場】

2026年11月23日（月）勤労感謝の日

午後1:30～4:10

（受付：午後1:00から）

横浜国立大学

都市科学部 講義棟101号教室

（教育学部講義棟7号館 南側の建物）

第1部「インクルーシブ教育ってなに？

インクルーシブ教育システムとは違うの？」

講師：高野陽介先生

横浜国立大学ダイバーシティ戦略推進機構D&I教育研究実践センター講師

東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科を修了、博士（教育学）の学位を取得。
社会福祉士。肢体不自由の当事者としての経験を背景に、特別支援教育、インクルーシブ教育、肢体不自由教育について研究をすすめている。著書・監修に
「絵でみる！ はじめてのインクルーシブ教育 みんなちがってみんな友だち
【全4巻】」など。

第2部 グループディスカッション

講演を受け「インクルーシブ教育の理念」をもとにした「子ども理解とかかわり」
に焦点を当てたグループディスカッション

第3部 高野先生と参加者との意見交換

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

参加申し込み

①支部所属の方

10月23日（金）までに支部長にお名前と卒業年を連絡して参加申し込みをして
ください。支部長には後日 e-mail で取りまとめ表を送ります。

②個人会員や学生会員、支部長に連絡が難しい方や締め切り日を過ぎてしまった場合。

二次元コードを読み取り、申し込みフォームに必要事項を記入して 送信してください。



申し込みフォーム

テーマ設定について

テーマに掲げた「目の前の子どもがすこやかに育つ」は、私たちが常に願っていることです。

現在、学校教育は大きな変革期にさしかかっています。子どもたちを取り巻く環境は急速に多様化・複雑化してきており、さらに学習のデジタル化やAIの活用により従来の教育手法や授業観は大きな転換を求められています。さらに、「インクルーシブ教育」「不登校の児童生徒の居場所」「ユニバーサルな授業」等々、差し迫った様々な課題に学校や教師はどう向き合い、どんな答えを出していくのでしょうか。

学校教育は「子ども理解とかかわり」が基礎となっています。学校では、教育改革の理念や将来像は理解しつつも、教育に携わる者として一人ひとりの子どもと向き合い、寄り添い、励まし、背中を押していくという日々の教育活動の中で、疑問やとまどい、悩みも深いといえます。

今年の「豊かな教育を考える会」はサブテーマを「子どもとかかわる中で大切にしていること してきたこと」と設定し、横浜国大D&I教育研究実践センター講師の高野陽介先生の講演と、講演を受けてインクルーシブ教育の理念をもとにした「子ども理解とかかわり」に焦点を当てたグループディスカッションを計画しました。参加された皆さんが、教師の立場からは、子どもや保護者とかかわりのなかでの成功事例、失敗談、手立てや不安なことなどを語り合いたいと考えます。また、学生の立場からは、授業やボランティアで学んだ経験、自身が生徒だった頃の思い出や考えたことなどを元に話し合いに参加してほしいと思います。一人ひとりが様々な経験や考え方を語り合い伝えあうことを通して、「学校のあたり前」にとらわれずに『子ども理解』と『かかわること』を中心に据えた豊かな意見交換の場にしていきたいと思います。

あわせて、この会が教師を目指す大学生や若手教員を励まし応援する場となり、参加者全員が明るい気持ちになる会にしたいと思います。